

学校運営協議会だより

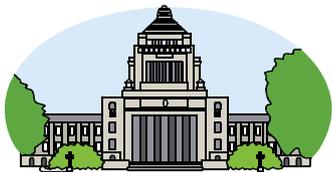
文責 CS事務局

回
覧

毎年小学校5年生と中学校2年生を対象に、4月～7月末までの期間に全国の小学校・中学校で悉皆調査する「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を紹介したいと思います。

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の目的は次の通りです。

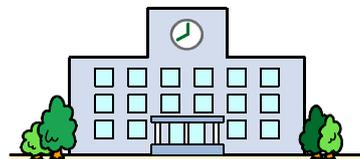
国が全国的な児童生徒の体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、児童生徒の体力・運動能力や運動習慣等の向上に係わる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。



各教育委員会が全国的な状況を踏まえ、児童生徒の体力・運動能力や向上に係わる施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、その取組を通じて、児童生徒の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。



各学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。



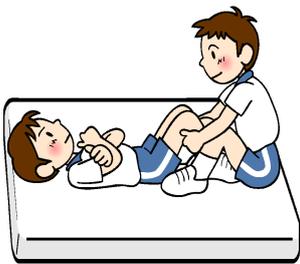
上記の目的により、実技調査・質問紙調査が行われます。

■実技による調査……8つの種目に挑戦します。

①握力



②上体起こし



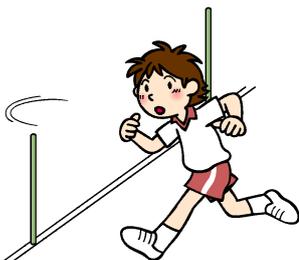
③長座体前屈



④反復横跳び



⑤シャトルラン※1



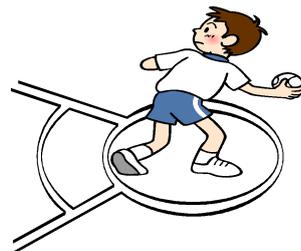
⑥50m走



⑦立ち幅跳び



⑧ソフトボール投げ
※2



※1 中学生はシャトルランに替えて持久走による調査が可能です。

※2 中学生はハンドボール投げによる調査を行います。

■質問紙調査
(児童・生徒)
運動習慣
生活習慣等
(学校)



児童生徒の体力・運動能力・
運動習慣等の向上に係わる
学校の取組等

実技に結果を体力合計点(得点)に変換します。

□体力合計点

種目によって単位が異なる測定値を、単位が共通な10点満点の「ものさし(尺度)」に変換し、8種目の結果を合計した得点(80点満点)

体力合計点を活用して総合評価を行います。

□総合評価

体力合計点の高い順にA~Eの5段階で評価します。

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果(北海道)

■実技調査結果

北海道の平均と全国平均の対比

- ・小学・中学男女共に全国値を下回りました。
- ・小学校女子を除いていずれも体力合計点が上昇しています。
- ・小学校女子を除いていずれも全国との差が縮まっています。

□全国平均を上回った種目は下記の通りです。

小学校男子:5種目

握力 前屈 反復 立ち幅 ソフトボール投げ

小学校女子:5種目

握力 前屈 反復 立ち幅 ソフトボール投げ

中学校男子:1種目

握力

中学校女子:なし



北海道教育委員会の分析

前年度に比べ小学校女子以外は体力合計点が上昇している。
小学校女子を除いて全国との差は縮まっている。

■令和6年度児童生徒質問紙 回答結果(一部)

「運動やスポーツは好きだ」

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	73.0	54.8	63.5	43.2
北海道	74.6(+ 1.6)	56.9(+ 2.1)	69.3(+ 3.8)	43.8(+ 0.6)

「体育の授業は楽しい」

	小学男子	小学女子	中学男子	中学女子
全 国	75.0	59.5	57.4	39.5
北海道	75.1(+ 0.1)	59.2(▲ 0.3)	58.3(+ 0.9)	38.8(▲ 0.7)

■京極町の子ども達の体力と運動習慣(小学校5年生 中学校2年生対象調査から)

小学校 女子の合計点は全国平均を超えましたが、男女共に「上体起こし」の平均値は低い結果になりました。
男女共に「スポーツをすることは好きですか」の問いに否定的な回答は0でした。

中学校 男子は全体的に運動能力が高い結果となりました。
男女共に「中学校卒業後も自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいですか」の問いに70%以上が肯定的な回答となりました。

学校においては、調査結果を受け、小学校体育・中学校保健体育の授業改善に努めます。また、家庭・学校・学校運営協議会が、子ども達の体力と運動習慣の向上のための取組を協働して進めていければと思います。